

## 令和元年度 第2回 学校自己評価(教職員)

R元年12月実施

評価基準	4→よくあてはまる (9割以上の達成状況)	概ね達成
	3→ややあてはまる (6割以上9割未満の達成状況)	
	2→あまりあてはまらない (3割以上6割未満の達成状況)	要改善
	1→ほとんどあてはまらない (3割未満の達成状況)	

	No.	調査項目	評価(人)(右の数値はR元.7)							
			4	3	2	1				
教育ビジョン	1	行事や分掌の取組に改善を加えるなどし、学校運営に積極的に参画している。	4	4	8	9	0	0	0	0
	2	「学校が好きだ」と言える子どもが育ってきている。	4	6	7	6	0	0	0	0
教育課程	3	各教科、領域の授業時数を確保している。	9	9	2	3	0	0	0	0
	4	ふるさと教育が推進されている。	5	4	6	7	0	1	0	0
学校行事	5	学校行事に児童が積極的に参加し、行事の目的は達成されている。	8	6	3	6	0	0	0	0
研修	6	教職員としての資質向上に努めている。	5	8	7	5	0	0	0	0
学級経営	7	児童理解を図り、実態に合った学習指導や生徒指導を行っている。	4	6	7	6	0	0	0	0
学習指導	8	児童に確かな学力が定着している。	2	3	9	9	0	0	0	0
	9	学習規律が定着している。	4	5	7	7	0	0	0	0
	10	主体的・対話的で深い学びの授業が、様々な教科領域で展開されている。	5	2	6	9	0	1	0	0
生徒指導	11	いじめや問題行動への対処・指導を迅速に行っている。	7	8	4	4	0	0	0	0
教育相談	12	児童や保護者の悩みを共感的に受け止め悩みの解消に努めている。	7	6	4	6	0	0	0	0
特別活動	13	学級活動や集会活動を通し、好ましい人間関係が育ってきている	5	5	6	7	0	0	0	0
特別支援教育	14	障害のある児童等の教育的ニーズに応じた支援を行っている。	5	5	6	6	0	1	0	0
人権教育	15	全教育活動の中で人権を尊重した指導を行っている。	6	5	5	7	0	0	0	0
道徳	16	教育活動を通して道徳教育実践し、豊かな心が育ってきている	6	6	5	6	0	0	0	0
体力向上	17	児童の体力は向上している。	3	1	8	11	0	0	0	0
健康教育	18	保健指導を通して、自己管理ができる児童が育ってきている。	2	1	8	10	1	1	0	0
国際理解教育	19	外国のことや日本文化に興味関心を持たせる指導を行っている	2	3	8	8	1	1	0	0
情報教育	20	情報機器を効果的に活用した授業の実践に努めている。	5	4	6	7	0	1	0	0
図書館教育	21	読書の習慣が身につくように指導している。	5	8	6	4	0	0	0	0
ボランティア・福祉教育	22	社会に奉仕する態度を育てる教育活動を実践している。	1	4	9	7	1	1	0	0
ワークライフ・バランス	23	業務を働き方改善の視点から見つめ、実践している。	1	4	9	8	1	1	0	0
	24	残業時間が昨年度の同時期に比べ減少している。	2	2	8	6	1	4	0	1